2023年12月10日

ことばが人となったアドベント第2週礼拝説教要約

(ヨハネ1・14~18)

一、なぜヨハネの証言が?

が起こりました。たどり着いたところ だからです。私には、このギャップは何 実の世界を語っています。すごいギャ り、5節で〈光は闇の中に輝いている。 にあった。ことばは神であった。〉と語 は二つです。 にヨハネを登場させたのかという疑問 なのだろうか、というよりも、なぜここ は、ヨハネというひとりの人間の証言 わち、宇宙のことを述べて、次に来るの とを述べて、被造物としての世界、すな ップです。時間と空間が始まる前のこ の名はヨハネであった。〉と、突然に現 から遣わされた一人の人が現れた。そ す。ところが、6節になりますと、〈神 ています。ここまでは、抽象的な内容で **闇はこれに打ち勝たなかった。**〉と語っ にことばがあった。ことばは神ととも ヨハネの福音書は、1章1節で〈初め

証されなければならない。〉とあります。ハネの証言を必要としていたことは立を弁えていたからです。中命記に〈19・を弁えていたからです。中命記に〈19・を対えていたからです。中命記に〈19・です。中命記に〈19・です。中の証書を必要としていたことです。

主がいった。ことばにも、パウミイエスが語られたことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった〉と、ことばなる主イエス・キッストの「証言」を語り始めました。しかし、この福音書記者一人による証言です。は聞く側にとっては、それはヨハネという福音書記者一人による証言です。が信頼できる人物である必要がありまが信頼できる人物である必要があります。そう受け止めますと、バプテスマのヨハネは信頼に値する人物でした。しかし、この福音書記者一人による証言です。す。そう受け止めますと、バプテスマのヨハネは信頼に値する人物でした。ことばにも、パウラーのは、ヨハネが高かられずぎ

ヨハネを牽制するために、7節、8節で 出てくる、アレクサンドリア生まれの す。また、ユダヤ人の多くがバプテスマ の弟子でしたし、ヨハネの福音書4章 ります。ヨハネの福音書に戻りますが、 その後も長らく続いていた可能性があ ように、バプテスマのヨハネの影響は ユダヤ人で、雄弁なアポロも、バプテス ネが殉教の死を遂げた後も、数多くい のヨハネを、主の預言者と認めていま ヨハネには多くの弟子がいました。ア てしまう過ちを牽制するためでした。 マのヨハネを信奉する人でした。この たと考えられます。 使徒の働き 18 章に には多くの弟子がいたと書かれていま した。ヨハネを信奉する人たちは、ヨハ ンデレとヨハネもバプテスマのヨハネ もう一つは、ヨハネが高められすぎ

> 来た。光について証しするためであり、 ではよってすべての人が信じるためであった。彼は光ではなかった。ただ光について証しするために来たのである。〉 と。また15節では〈ヨハネはこの方について証しするために来たのである。〉 と。また15節では〈ヨハネはこの方について証しして、こう叫んだ。「『私の後に来られる方は、私にまさる方です。私なり先におられたからです。」〉と語り、20節では、〈ヨハネはためらうことなく告白し、「私はキリストではありません」を明言した。〉と語っています。〈この人は証しのために

二、ことばが人となった

は次のように語っています。 14 節1 文なるお方について、福音書記者ヨハネなるお方について、福音書記者ヨハネなって〉の〈人〉ですが、原文には「肉なって〉の〈人〉ですが、原文には「肉は次のように語っています。 15 記したちのうちに宿った。〉です。り、わたしたちのうちに宿った。〉ですのり、わたしたちのうちに宿った。〉です。となって、わたしたちの間に宿られた〈み言葉は人間となった。〉です。これで、かったしたちのうちに宿った。〉です。(宿った)。〉です。フランシスコ会訳は〈み言葉は人間となった。

なわち、永遠なるお方が、私たちの間にとばの意味は「テントに住む」です。 すまた、 〈住まわれた〉 ですが、 元のこ

書記者のヨハネは語りました。仮住まいをされたという意味で、福辛

本に、〈私たちの間に住まわれた〉の (私たち〉は、だれなのでしょうか。福 音書記者のヨハネが、証人のひとりと して〈私たち〉です。それは、主イエス・ ているわけですから、著者が語るとこ ているわけですから、著者が語るとこ でいるわけですから、著者が語るとこ の〈私たち〉です。それは、主イエス・

三、御子が神を説き明かされた

最後に 18 節を見ます。〈いまだかつておられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。〉とあります。〈神を記き明かされたのである。〉とあります。〈神を説き明は〈神をあらわしたのである〉としています。新共同訳と聖書協会共同しています。新共同訳と聖書協会共同しています。新共同訳と聖書協会共同しています。〈神を啓示されたのである〉としています。

キリスト教会が信じているのが聖だひとりの救い主であることができるとによってのみ神を知ることができるとによってのみ神を知ることができるとによってのみ神を知ることができるとによってのみ神を知ることができるとによってのみ神を知ることができるとです。それを証言していることは、キリスト教会が信じていることは、